

第2回学校運営協議会レポート①

6月20日の取手第二中学校を皮切りに、**第2回目の学校運営協議会**が始まりました。協議会では、学校の現状をお伝えするとともに、地域と学校が協働的に活動することに関する話し合いが中心となってきます。この第2回学校運営協議会の話し合いの様子をレポートしていきます。



取手第二中学校

1 今後の「地域学校協働活動」の方向性について

授業参観・給食試食会の後、地域学校協働活動についての熟議がありました。まず始めに校長先生から今後予想される社会情勢等の話があり、ITの進歩により今後は知識理解よりも、人との関わりが重要になる時代になっていくだろうとの話がありました。

次に「地域学校協働活動」をCS委員間で理解共有するためにYouTubeにアップされている金沢市立犀生中学校の動画を視聴し、共通理解を深めました。

2 熟議

2グループに分かれて、地域学校協働活動について意見交換をしました。生徒の将来の人生を考える契機になること、社会との接し方や社会生活のルールを学ぶことなどを目途に紹介しました。具体的には、消防団訓練への参加、イベントへのお手伝い・企画・協力、職場体験学習の充実などの話題で活発に意見交換できました。取り組み方によっては、様々な活動があることを確認できました。

今後、この中の一つでも学校としてチャレンジし、PDCAサイクルを活用しながら、継続的に維持発展できる活動を模索していきましょうということでもとまりました。写真は、校長と教務主任が内容をまとめているところです。

<6月20日開催>



取手小学校

1 学校長あいさつから

校長先生よりCSマイスター安齋先生の報告がありました。シビックプライド（地域に対する誇りや愛着をもち、当事者意識で地域のために活動すること）をもって、今後も情報を学校・地域・保護者で共有し、皆様のアイデアをお借りしながら子供のために活動していきたいとの話がありました。

2 授業参観の観点について

教務主任より、今後活動していく取手小応援サポーター（以下とりサポ）制度の活用にあたり、サポートのたたき台となる、学校の活動の様子のパワーポイントによる説明と本日の授業参観時の観点の提示がありました。

3 熟議

4人2グループで熟議をしました。授業参観後の委員からは、ITの活動での説明もよいが、生活科の授業の中で、自分で捕まえてきた昆虫を生き生きとして見せ説明している子供がいて、興味関心があることについては、自ら学ぶ姿勢があるなどの話が出ました。ただ、各教室に子供を助ける人（教育補助員のような方）がもっといるとさらに子供にサポートが行き届き、深い学びになるのではないかと意見も出ました。そのために、「とりサポ」が重要な意義になること、地域の方々や保護者の皆様の応援があるとよりよい活動になって行くのではないかと、また、学校を核とした活動から、地域の活性化につながるのではないかなど話もありました。

教頭先生からは、現時点での「とりサポ」の応募状況や今後の募集についての話がありました。

<6月27日開催>





藤代南中学校

- 1 会長あいさつから
昨今の猛暑の中、活動について十分な配慮や見直しも必要、宮和田小と青少年相談委員との連携等が提示されました。
- 2 学校長あいさつから
教育目標「できるを叶える 藤代南中」の追求に地域の力が必要であり、南中生の地域での活動が地域の活性化につながることを再確認されました。
- 3 協議
協議ではまず、「地域で活躍する藤代南中」の視点で地域学校協働活動に関する現状の確認としてこれまでの取組1～4とこれからの取組5について説明がありました。
 - 1 部活動（美術部や吹奏楽部）単位での地域や小学校とのかかわり：作品展示・演奏
 - 2 授業力パワーアップ・サステナブルプロジェクト等による外部講師との連携
 - 3 キャリア教育における職場体験の協力
 - 4 部活動・地域クラブ活動
 - 5 生徒会の取組〈Go!TryAngle〉で地域とかかわる
tryする 3学年で 地域-学校-保護者の三者で
地域のお祭りへのボランティア協力を計画中
- 4 熟議
上記を踏まえて「地域で活躍できることはどんなこと？」
→「地域・保護者として支援できることは？」について
熟議を行いました。以下のようなカテゴリーに集約し、具体的な活動を話し合いました。
 - ・地域でもあいさつ
 - ・地域の物・事・人を知る。⇔学校活動を知る。
 - ・公民館活用の活性化
 - ・ボランティア活動の推進
 - ・登下校、地域での自転車
 - ・お年寄りとの交流、農業体験 他



<6月27日開催>



取手第一中学校

- 1 教育長あいさつから
学習活動の中で、学校や地域で子供たちが興味関心を示し、食いつく種をまき、子供が自分事としてとらえ考えることができるような活動が具現化できるようになればありがたいという話がありました。
- 2 校長あいさつから
気温が高い中ですが、子供たちは熱中症に気を付けながら落ち着いて学習しています。7/1から、県南・県総体等での頑張りが期待できます。今後もCSを含め様々な活動にご協力よろしくお願いします、という話がありました。
- 3 授業参観
1年生は各教科、2年生は道徳、3年生は進路学習の授業を参観しました。
- 4 熟議
校内研修のテーマである「自分の考えを表現できる生徒の育成」を目指すために、
 - ①学校・地域で取り組めることは何か
 - ②CSを通して地域の活動に子供が参加できるものにはどのようなものがあるか
 - ③子供が参加するのに必要な力は何かなどを話し合いました。



5 まとめ

熟議の時間が足りないくらい意見が出ましたが、今年度の教育課程を踏まえ、実情に合った取組を模索していくこと、例えば、具体的に取組みそうな案としては、消防団等の防災訓練等があげられました。また、第3回までにしばらく時間が空くので、少しの時間でも機会を見つけて話を深めていくことが大切である、と一中担当者からの話がありました。

<6月30日開催>